

320名の新たな蕾む花

— 平成27年度 入学式挙行 —

千西一週

第31号

2015年
4月22日 発行

上田西高校
新聞委員会
代表
羽毛田果歩



新入生へ歓迎の言葉を送る桜井校長先生

4月4日（土）に平成27年度第56回上田西高等学校入学式が挙行された。当日は曇り空で気温も低く、天候は今一つだった。320名の新入生が晴々しく入学した。校門の桜は満開で、桜の下で保護者と共に記

念撮影をする生徒の姿が多数見受けられた。桜井校長先生は式辞で新入生へ「一つのこと」に全力で打ち込める自分を見つけてほしい。人の気持ちや理解できる心豊かな人になってほしい」と話された。式後の教室でのホー



式後の担任との初顔合わせ

岡田宗記さんは、

ムルムは入学式で発表された担任の先生との顔合わせであった。新入生は担任の話に緊張した面持ちで、また、これから新しい環境に期待

これからの高校生活では「中学より困難になる勉強を頑張りたい」と学習への意欲を見せ、三組の高寺歩夢さんは「部活動は硬式野球に入り、



一学年担任団

1組	担任	宮入 広行先生
	副担任	正村 真一先生
2組	担任	西野 純先生
	副担任	立堀 哲也先生
3組	担任	土屋 勇満先生
	副担任	帯刀 秀幸先生
4組	担任	藤澤 文栄先生
	副担任	竹内 裕子先生
5組	担任	平井 進悟先生
	副担任	丹羽 貴先生
6組	担任	和田 直樹先生
		竹内 俊幸先生
7組	担任	関口 和也先生
	副担任	功刀 弓佳先生
8組	担任	中村 幸一先生

生徒会ガイダンス

4月2日、生徒会ガイダンスが行われた。各委員長から委員会の説明があり、それぞれの部活動が活動内容を紹介。サッカー部、男子バスケットボール部、レスリング部、アーチェ

甲子園出場に向け日々奮闘したい」六組の寸田風菜さんは「中学からの継続で、部活動はバレー部に入部し、レギュラーをとりたい」とそれぞれ語った。部活動への期待や氣勢をあげる生徒が目立った。

入学式から数日経ち、すでに多くの部活動の体験入部や仮入部が始まっている。沢山の一年生が部活動に入部し、益々西高の部活動が活性化していつてほしい。

リ部、バドミントン部、吹奏楽部は新入生の目の前で日々披露した。中でもアーチェリー部の、風船を矢で射るパフォーマンスや、レスリング部の迫力ある技の紹介は、見るものを魅了するものであった。一つの部活の持ち時間が二分と短いものであったが、多くの新入生の注目を集める、内容の濃いものになった。

対面式

4月6日に対面式が行われた。

新入生はまだ着なれぬ制服に身を包み、二、三年年の副リーダー長がつくるアーチをくぐって体育館へ入場した。生徒会役員による生徒会太鼓の歓迎を受け、これから始まる3年間の学園生活に胸を躍らせていた。

そして、入学式から二回目となる校歌斉唱では、慣れない歌詞に戸惑いながらも、対面している先輩の姿をじつと見つめつつ上田西高の一員となったことを実感している様子であった。

また、本年度は前年度の対面式には



行わなかった西高の一年という、西高での行事をまとめたスライドを生徒会役員が発表をした。理由として、対面式の統括をした生徒会役員は、「西高での生活が少しでも楽しみになつて欲しい」と思い、企画した」と話していた。各行事で学年の域を超え、一年生も二、三年生と交流を深めていって欲しい。

西高に新たな11名の先生



本年度も、上田西高校に新任の先生方がいらつしやうた。社会科に山浦天先生、牧野大樹先生。数学科に白田嵩先生。国語科に吉崎琢朗先生、芸術科に熊谷修一先生、瀬齋はるか先生、宮崎真奈先生。英語科に宮本孝子先生。カウンセラーに中西優花先生、堀内泉辞先生、片岡義子先生。計11名の先生方が着任された。

本校の印象を社会科の山浦天先生は、「西高は気持ちの良

モーグル 国体優勝

2年4組の川田佑香さんは、2月23日に群馬県で行われた2015ぐんま冬国体イベント事業フリースタイル競技会の少年女子の部で優勝を



笑顔で表彰を受ける川田佑香さん

果たした。川田さんは幼いころからスキーを始め、モーグルは小学校5年生の時から続けているそうだ。モーグルとは、スキーにお

けるフリースタイル競技の一つで、コブ（凹凸）が深く急な斜面を滑走し、ターン技術や、スピードなどの合計点数を競うという競技である。今回の大会は自分への挑戦で出場した大会であったそうだ。川田さんは「優勝は正直驚いたが、とても嬉しい」と話していた。

現在足を負傷中。「足を治し、次のシーズンに向け今後もいい成績を残せるよう頑張りたい」と意気込んだ。

編集後記

千西一週31号を読んでいたいただき、ありがとうございます。本年度新聞委員長になりました、羽毛田果歩です。今年度は昨年より発行部数をあげ、よりタイムリーに詳しく、西高での出来事をお知らせしたいと思っておりますので、発行を楽しみにして頂けたら幸いです。

さて、今回私が委員長になり、最初の発行でしたが、新聞委員会は半年間副委員長が決まらず、先日14日の定例委員会で決定しました。これから私、そして副委員長の3人と、新しく顧問になりました山浦先生のご指導のもと、内容のあう精進しますので、よろしく願います。次回発行は5月の連休前を予定しておりますので、楽しみにお待ちしています。できればと思います。